

地域密着型金融推進計画の基本的考え方

(平成21年度～23年度)

基本方針

当金庫は、これまで2次にわたるアクションプログラムを実施し、お客さまや地域社会にとってなくてはならない存在感のある「コザしん」を目指してまいりました。

当金庫が、地域の活性化や持続的な発展に貢献していくためには、企業の再生、地域における起業支援など中小企業の金融の円滑化を図るとともに、地域金融機関の使命を果たすため、経営力の一層の強化に努め、これまで行ってきた地域密着型金融への取り組みをさらに深化させることであります。今後も「コザしん」と会員、地域住民、関係諸機関等との連携をさらに強め、持続可能な地域密着型金融を押し進めてまいります。

具体的に次の3分野について取り組みます。

1 ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

中小企業の創業期・成長期など企業の成長段階に合わせた支援や新事業支援を実施するなど中小企業金融の円滑化を進め、日ごろからお客様との密度の高いコミュニケーションを通して取引先企業に対する経営相談、支援をしていきます。

- | | |
|---|---|
| <p>① 創業・新事業支援機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域経済の再生・活性化に向けて、中小企業のライフサイクルに沿った創業や新事業等に対する資金支援を行っていきます。 | <p>② 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の経営相談や金融支援を図っていくため、地方公共団体・商工会議所・商工会等と連携強化を図っていきます。また、経営改善の必要な取引先の事業再生に向けた取り組みを強化します。 |
|---|---|

2 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

担保・保証に過度に依存しないキャッシュフロー重視の融資態勢の継続、目利き力の向上に加え、各種融資商品や動産・債権譲渡担保融資の資金供給の円滑化について取組んでいきます。

- | | |
|--|--|
| <p>① 担保・保証に過度に依存しない融資の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資を推進するため、取引先企業の事業価値を見極める「目利き力」・「融資判断力」の向上を図るとともに、流動資産担保融資や無担保融資商品を活用した円滑な資金提供を行います。 | <p>② 融資商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者の運転・設備資金が利用しやすいよう、事業活性化ローンの充実を図っていきます。 |
|--|--|

3 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

当金庫は、地域住民にとって多様な金融チャネルの主要な窓口となっており、事業性貸出に留まらない多様な金融サービスの提供も地域密着型金融として位置付け、推進していくことにより地域全体の活性化を図っていきます。

- | | |
|--|---|
| <p>① 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質の向上を図り、課題解決型金融に向けた態勢を確立しサービス向上を図っていきます。 | <p>③ ITの戦略的活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットバンキングによる取引(預金・個人ローン)の拡充を図っていきます。 |
| <p>② 地域貢献に関する情報開示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献活動を積極的に行い、地域住民とのコミュニケーションを図っていきます。 | <p>④ 「コザしん地域振興基金」による地域活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コザしん地域振興基金と連携して地域発展に貢献します。 |

なお、本計画は、平成23年度までとしておりますが、24年度以降も再度計画の見直しを行い、継続した推進を図っていきます